

件名：文部科学省所管事業「スポーツコミュニティの形成促進事業」の渋川市での実施について

- 1 目的 特定非営利活動法人NPO群大クラブ（群馬大学教育学部の柳川益美教授が主宰）が、文部科学省の採択を受けた「スポーツコミュニティの形成促進事業」（平成23年度新規事業）を本市の小・中学校等で実施することで、スポーツの振興や小中学生の体力増進及び住民のスポーツ参加の向上等を図るものです。
この事業は平成23年度から平成25年度までの3年間行われます。
なお、同省の採択を受けてこの事業を実施するのは全国で35団体であり、群馬県内では「NPO群大クラブ」の一団体が採択を受け、渋川市が初めての事業になります。
- 2 内容 地域の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団及び中学校の部活動へのトップアスリート等の巡回指導や小学校の体育授業等の支援等を実施するものです。
- 3 事業の概要
 - 「トップアスリート等による巡回指導の実施」
市内の総合型地域スポーツクラブ1団体、スポーツ少年団2団体及び市内中学校7校へトップアスリートを派遣し、スポーツを通じて競技力や体力の向上を図るものです。今年度は、サッカー・ソフトテニス・アイススケート・ローラースケート・レスリングの5種目で実施します。
 - 「小学校体育活動コーディネーターの派遣」
小学校に体育コーディネーターを派遣し、小学校全体の体育授業や体育活動の補助や担任とともに体育の授業に取り組むものです。今年度は市内小学校4校で実施します。
- 4 主催 群大クラブ
共催 渋川市教育委員会

参考

特定非営利活動法人NPO群大クラブ

群馬大学教育学部の柳川益美教授により、「スポーツを通して健康で豊かな生活を送ることを目指し、世代を問わず誰もが楽しく地域づくり・健康づくりに取り組むこと」を目的に、平成14年1月に設立されました。

これまでも前橋市、旧群馬町、吉岡町、旧利根村、中之条町、下仁田町、桐生市相生、旧吉井町等での健康づくり支援活動を行っています。

また、本市では今年度「(仮称) 渋川市スポーツ振興地域活性化構想基礎調査」業務を、同教授のこれまでの経験と地元大学における研究成果が本市施策に活かせることから、産学連携推進事業として国立大学法人群馬大学に委託して実施しております。

件名：上三原田の歌舞伎舞台2017の開催について

1 事業概要

「上三原田の歌舞伎舞台」の舞台操作は、国から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、今でも全ての仕掛けが人力で操作されており、上三原田自治会で組織された「上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会」が継承していますが、この舞台の舞台操作の伝承と文化財の公開普及のため、同伝承委員会による舞台操作を公開して実施します。

この事業は、先人が培ってきた貴重な文化や遺産等の保存と活用の両立を図るため、本年度以降、毎年実施する計画です。

また、この機会を活かし、地元の三原田小学校の歌舞伎クラブによる歌舞伎をこの舞台で発表するほか、5・6年生有志によるロックソーランを発表します。

【国指定重要有形民俗文化財「上三原田の歌舞伎舞台」について】

上三原田の歌舞伎舞台は、文政2年（1819年）に建てられたとされる農村歌舞伎舞台で、2019年に建設から200年の節目を迎える歴史ある建造物です。

昭和36年に国から重要有形民俗文化財に指定され、『ガンドウ返し』『回り舞台』『上下セリ』などの江戸時代の歌舞伎隆盛期の「仕掛け」を今に残しています。中でも、回転舞台の中に昇降小舞台（セリ）があり、回転をしながらこの小舞台が昇降できる仕掛けは、『柱立式廻転機構』と呼ばれ、この舞台でしか見ることの出来ないものとされています。

2 内容

- (1) と き 11月19日（日）
- (2) と ころ 上三原田の歌舞伎舞台（渋川市赤城町上三原田269番地1）
- (3) 時 間 割 別添（次第）のとおり
- (4) 駐 車 場 別添のとおり
- (5) 観 覧 料 無料
- (6) 事前申込 不要
- (7) そ の 他 雨天決行（荒天は関係者で判断し中止）

3 主催

- (1) 赤城町上三原田自治会
- (2) 上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会
- (3) 渋川市教育委員会

平成29年11月19日（日）開催

国指定重要有形民俗文化財

上三原田の歌舞伎舞台 2017

スケジュール

9:00	開会・挨拶	上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会 上三原田自治会、渋川市教育委員会
	祝辞	渋川市長、渋川市議会議長
9:30	公開練習	三原田小学校 歌舞伎、ロックソーラン
10:15	舞台操作披露	上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会
11:15	発表	ロックソーラン〈三原田小学校5・6年生有志〉
11:30	発表	歌舞伎白浪五人男〈三原田小学校歌舞伎クラブ〉
12:00	休憩	記念撮影
12:30	舞台操作披露	上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会
13:30	閉会	

紹介

○上三原田の歌舞伎舞台

文政2年(1819)に建立、現在地には明治15年(1882)に移設されたとされます。昭和35年に国の重要有形民俗文化財に指定され、柱立式廻転・ガンドウ返し・二重セリ・遠見など、江戸時代の歌舞伎円熟期のカラクリを今に残し、全国でも見ることが出来ない特殊機構を備えています。今なお、電気や機械でなく人力で動かし、地元の人達が大切に守っています。

○上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会

この舞台の操作は、昔から上三原田地区の人達が伝承してきた技術で、全ての舞台機構を動かすには、80人が息を合わせる必要があります。上三原田自治会はこの技術を後世に残すべく伝承委員会を結成し、舞台操作のみでなく舞台の保存啓発にも尽力しています。

○三原田小学校ロックソーラン

三原田小学校ロックソーランは、毎年、運動会で5・6年生の演技種目として取り入れられ、ロック調のソーラン節の曲に合わせて、力強い踊りと勢いのあるかけ声で見ると感動を与えています。今年も総勢70名の5・6年生が運動会で素晴らしい演技を見せてくれました。本日は、その中から有志で踊ります。

○三原田小学校歌舞伎クラブ

平成25年にクラブ活動として立ち上げられ、以来この舞台で歌舞伎を演じています。年間10回の少ない練習時間ですが、児童の堂々とした演技をご覧ください。

○赤城南中学校ボランティア

郷土の歴史や伝統を受け継ぐため、後輩や仲間を応援するため、地元の小中学生によるボランティアが受付・案内を行います。

三原田小学校発表紹介

ロックソーラン

- ロックソーランとは
もともと南中（なんちゅう）ソーランといい、民謡歌手の伊藤多喜雄氏が北海道の民謡であるソーラン節を、アップテンポにアレンジした曲を用いた踊りの通称です。
北海道の稚内市立稚内中学校の教員と、生徒が考案した事が名前の由来です。アレンジされ派生したパターンも含め、国内の学校の運動会や体育祭等で広く踊られています。

- 出演者 5・6年生 40名

歌舞伎

- 演目 白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場
青砥稿花紅彩画（あおとぞうしはなのにしきえ）四幕目

- あらすじ
白浪五人男とは、日本駄右衛門を首領とした白浪（盗賊）です。故あってこれから義賊となり世のため人のために働こうとしていた矢先捕手が迫ったのでひとまず逃げようと稲瀬川まで来たときの場面です。特徴ある五人が、それぞれ七五調の心地よいセリフで見得を切るところや捕手との立ち回りが見所です。

- 出演者（歌舞伎クラブ）

日本駄右衛門	金子敬	(6年生)	
弁天小僧	角田晏寿	(6年生)	
忠信利平	榊澤羽音	(6年生)	
星十三郎	星野景純	(6年生)	
南郷力丸	川島凜花	(6年生)	
捕手	田島大飛	(4年生)	榊澤琴羽(4年生)
	永井大陸	(5年生)	尾竹美苗(5年生)
	町田翔太	(4年生)	
口役	上津久井讓	(4年生)	
後指	見導市鏡十郎	社中	
	藤川栄		

